

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 36)

件名	ドラム除染台車におけるガイドローラの脱落						
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: ドラム除染台車</p> <p>(2) 発生の状況 ドラム除染台車の運転中</p> <p>(3) 概要 ドラム除染台車側面ローラの脱落による移送中の台車の停止</p>						
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋換気設備が稼働している前処理建屋内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 台車の復旧に時間を要したとしても、上流のせん断機の運転を停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 ドラム除染台車の復旧作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画書に沿って効率的に作業を進めることにより作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 下流の工程の運転に影響が生じる。 せん断機の停止に伴い、前処理建屋内の溶解設備以降の工程の運転に影響が生じる。さらに、下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間にある一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>						
対応の概要	<p>(1) ドラム除染台車の停止の原因が側面ローラであることを確認する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従ってドラム除染台車のローラを復旧する。</p> <p>(3) 復旧後、ドラム除染台車が正常に作動することを確認し、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>						
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
対応区分	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 国際評価尺度 (INES) のレベル </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

